

2023年2月28日
株式会社日本政策金融公庫

食に関する志向 70代を除く全ての年代で「経済性志向」が上昇

< 消費者動向調査（令和5年1月調査） >

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、「消費者動向調査（令和5年1月調査）」を実施しました。食に関する志向、日本の将来の食料輸入についての考えについての調査結果を紹介します。

調査結果のポイントは以下のとおりです。

【食に関する志向】

- 食に関する志向は、令和4年7月調査（以下、前回調査）に引き続き「健康志向」「経済性志向」「簡便化志向」が3大志向となった。「健康志向」（39.8%、前回比▲2.3ポイント）は3半期連続で低下した。「経済性志向」（38.3%、前回比+2.2ポイント）、「簡便化志向」（35.2%、前回比+1.4ポイント）は上昇した。
年代別では、「経済性志向」は70代を除く全ての年代で上昇した。
- 食料品を購入するときに国産品かどうかを「気にかける」割合（69.7%、前回比+2.1ポイント）は上昇。「気にかける」と回答した方にその理由について聞いたところ、「安心・安全だと思うから」（75.9%）が最も高く、次いで「おいしいから」（26.1%）、「国産品を食べて、日本の生産者を応援したいから」（25.4%）、「新鮮だから」（25.3%）の順となった。
年代別では、「国産品を食べて、日本の生産者を応援したいから」は60～70代で3割を上回り、「おいしいから」は年代が低くなるほど高い傾向となった。
- 輸入食品に対するイメージについて、価格が「安い」の割合（45.1%、前回比▲1.6ポイント）は、前回調査に引き続き5割を下回った。

【日本の将来の食料輸入についての考え】

- 日本の将来の食料輸入について、「ある程度不安がある」（53.8%）、「非常に不安がある」（25.7%）を合わせた“不安がある”とする回答は79.5%となった。
年代別では、「非常に不安がある」は年代が高くなるほど割合が高い傾向となった。
- 日本の将来の食料輸入について“不安がある”と回答した方に、その理由について聞いたところ、「国際情勢の変化により、食料や生産資材の輸入が大きく減ったり、止まったりする可能性がある」（61.8%）が最も高くなった。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

消費者動向調査(令和5年1月)

～食に関する志向、日本の将来の食料輸入についての考え～

～目次～

I.食に関する志向	P 3 ～ 5
II.国産品かどうかを気にかけるか	P 6 ～ 8
III.国産食品の輸入食品に対する価格許容度	P 9
IV.日本の将来の食料輸入についての考え	P10～11

○調査概要

- 調査時期: 令和5年1月
- 調査方法: インターネット調査
- 調査対象: 全国の20歳代～70歳代の男女2,000人(男女各1,000人)
※インターネット調査であるため、回答者はインターネット利用者に限られる。

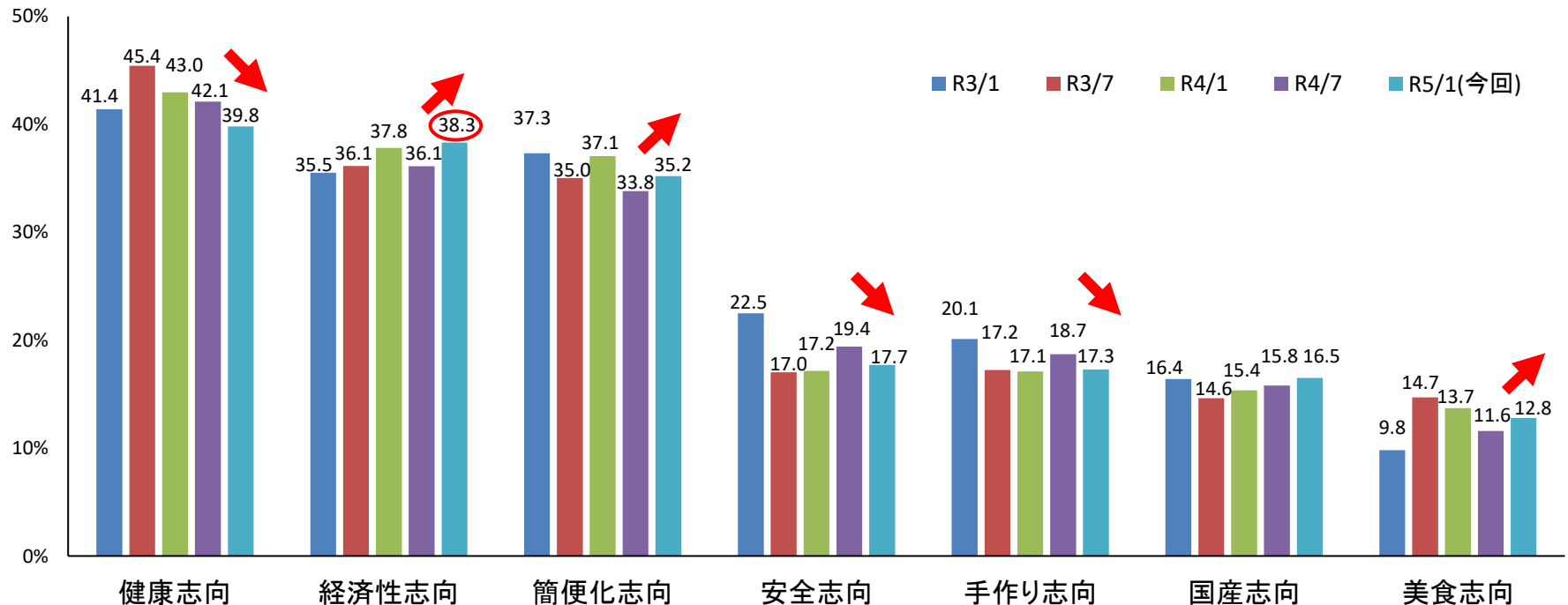
<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部(担当: 赤羽根、米山) TEL: 03-3270-5585
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

I. 食に関する志向(現在の食の志向)

- ・現在の食の3大志向は、前回までの調査と同じく「健康志向」「経済性志向」「簡便化志向」となった。
- ・3大志向の動きは、「健康志向」(39.8%、前回比▲2.3ポイント)は3半期連続で低下した。「経済性志向」(38.3%、前回比+2.2ポイント)、「簡便化志向」(35.2%、前回比+1.4ポイント)は上昇した。
- ・3大志向以外では「安全志向」(17.7%、前回比▲1.7ポイント)、「手作り志向」(17.3%、前回比▲1.4ポイント)が低下し、「美食志向」(12.8%、前回比+1.2ポイント)は上昇した。

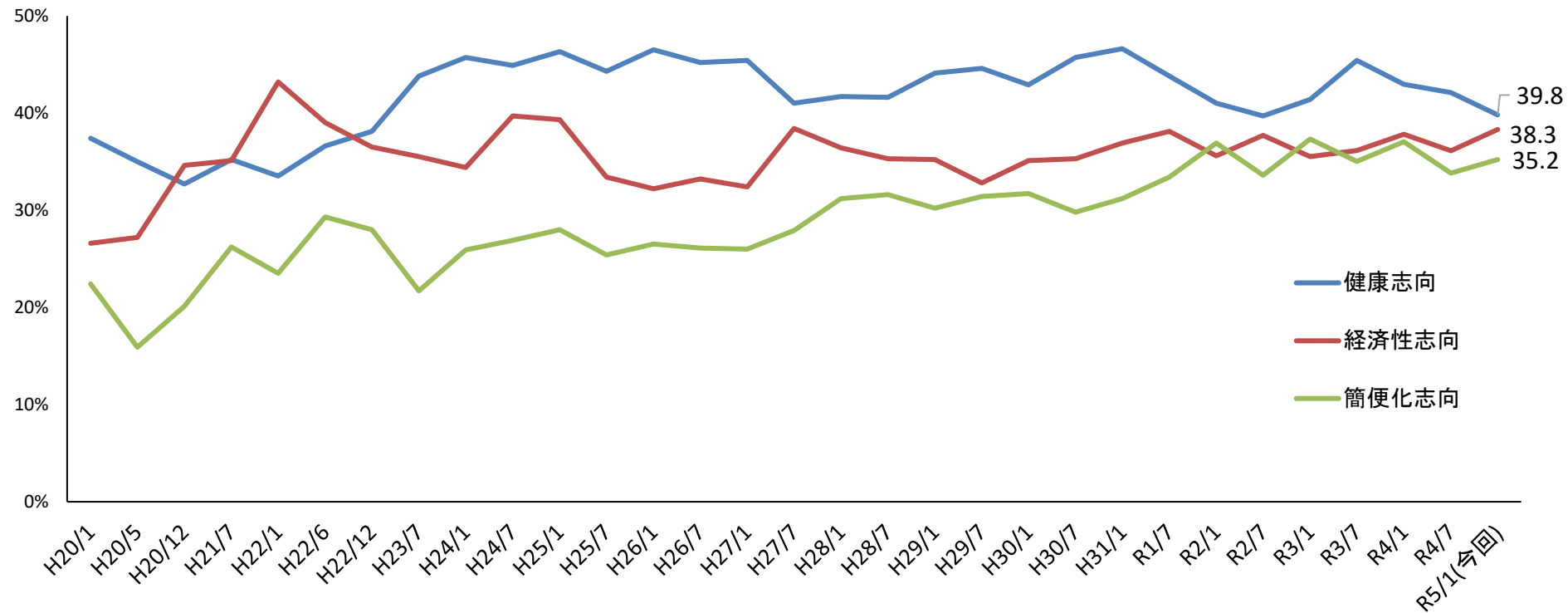
(複数回答、上位2つ)



I. 食に関する志向(現在の3大志向、平成20年1月調査からの推移)

・「簡便化志向」は、長期的にみると、右肩上がりに推移してきている。

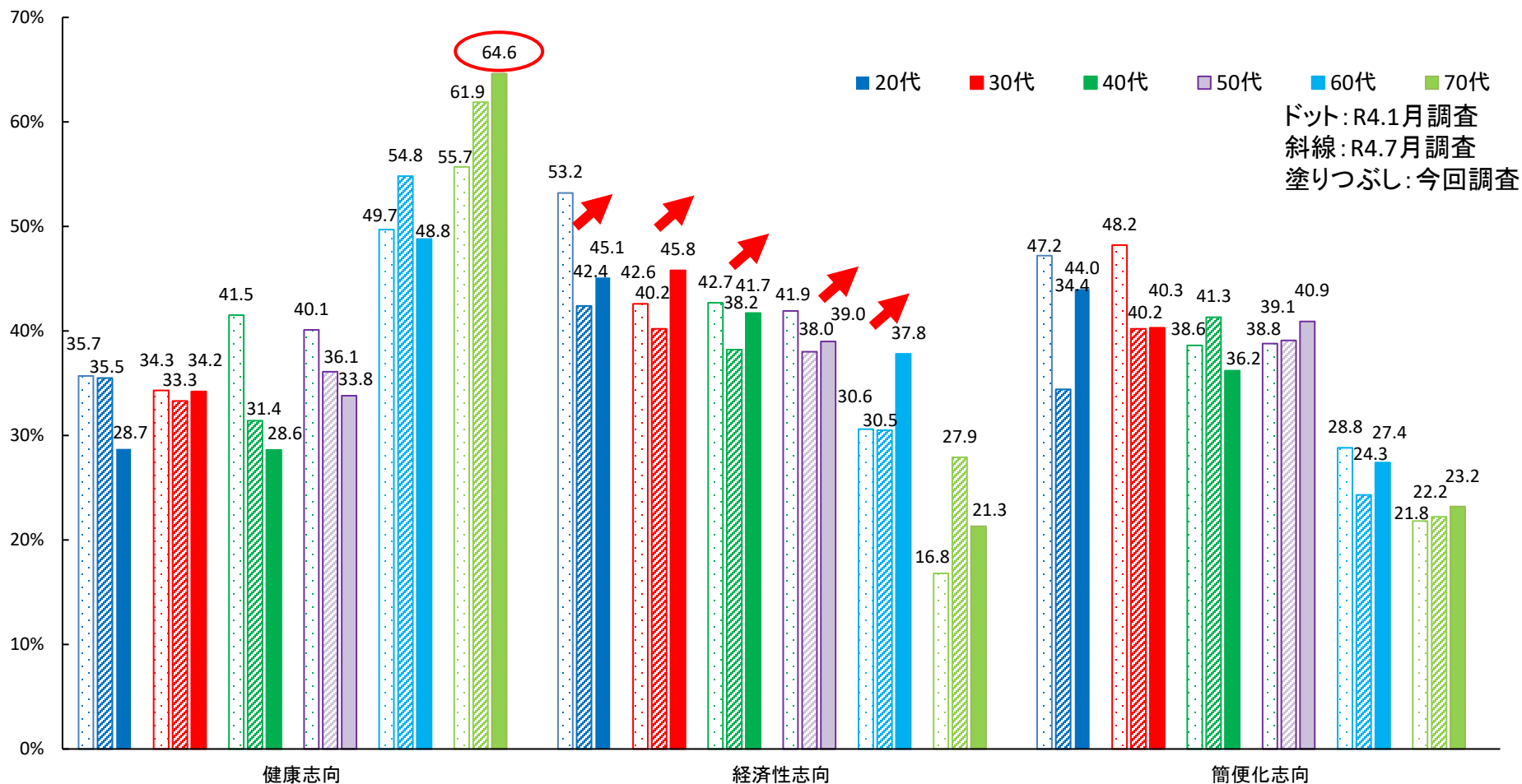
(複数回答、上位2つ)



I. 食に関する志向(3大志向、年代別)

・「健康志向」は、70代(64.6%、前回比+2.7ポイント)が他の年代と比べて特に高い割合となった。
 ・「経済性志向」は70代を除く全ての年代で上昇した。

(複数回答、上位2つ)

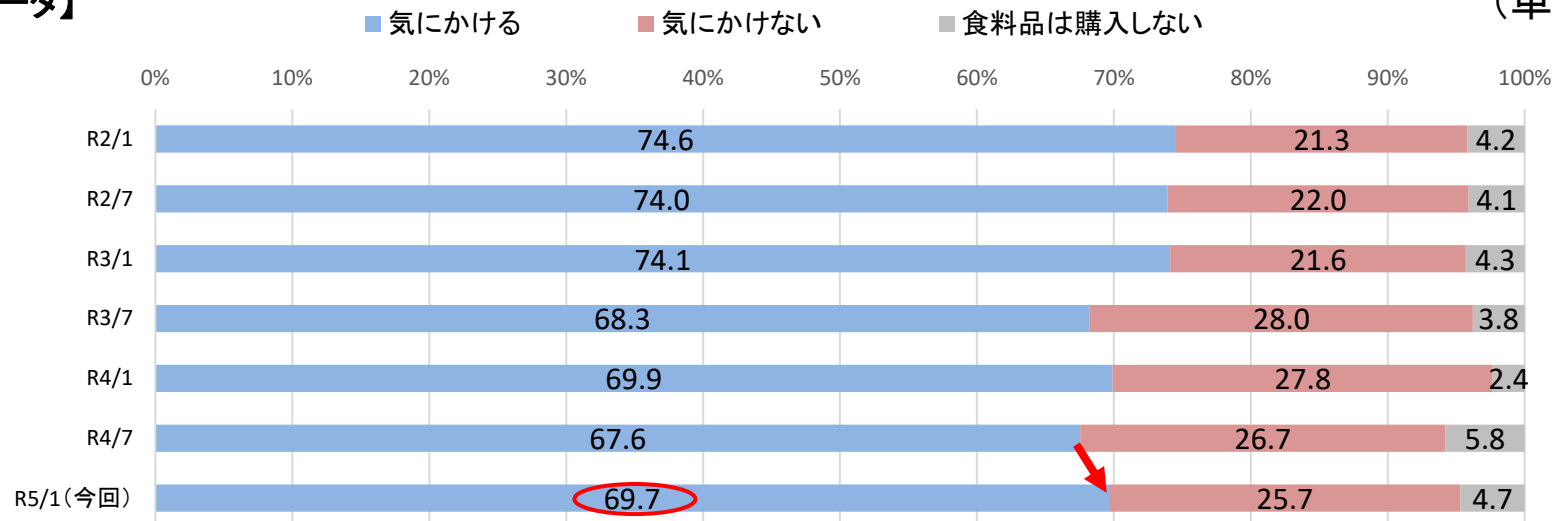


Ⅱ. 国産品かどうかを気にかけるか(食料品購入時)

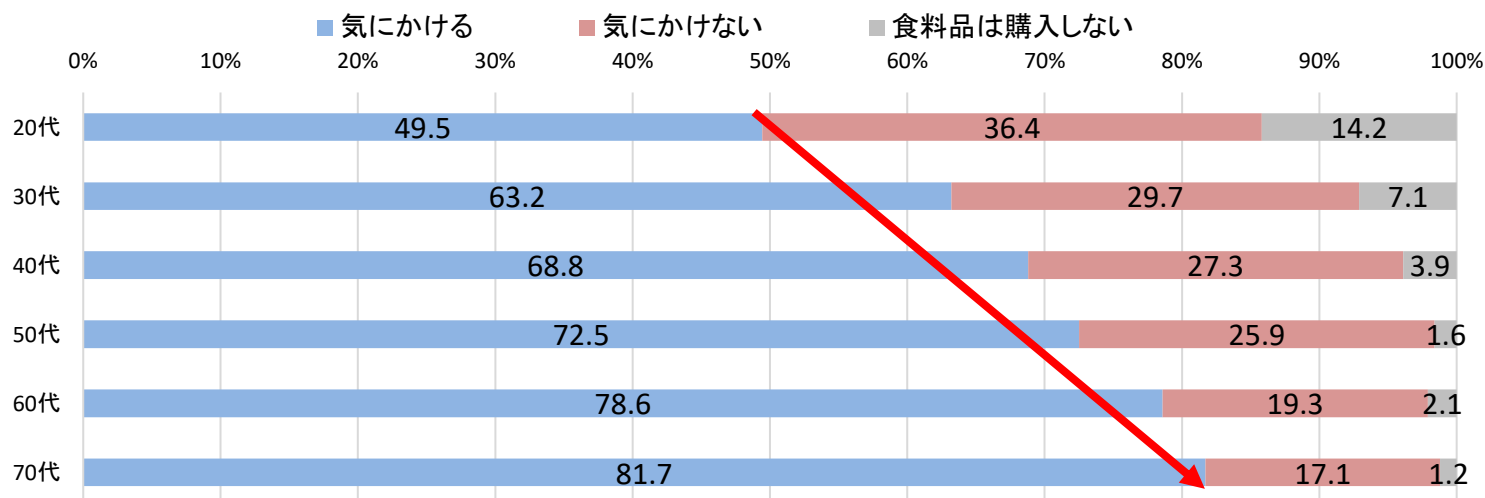
- ・食料品を購入するときに国産品かどうかを「気にかける」割合(69.7%、前回比+2.1ポイント)は上昇した。
- ・年代別にみると、「気にかける」は年代が高くなるほど割合が高い傾向となった。

【継年データ】

(単一回答)

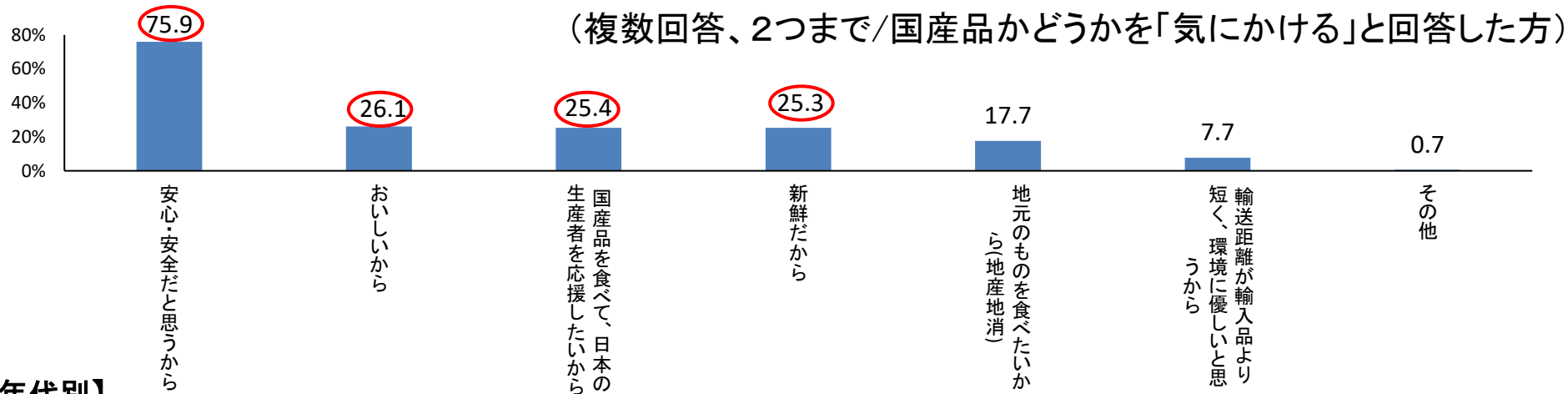


【年代別】

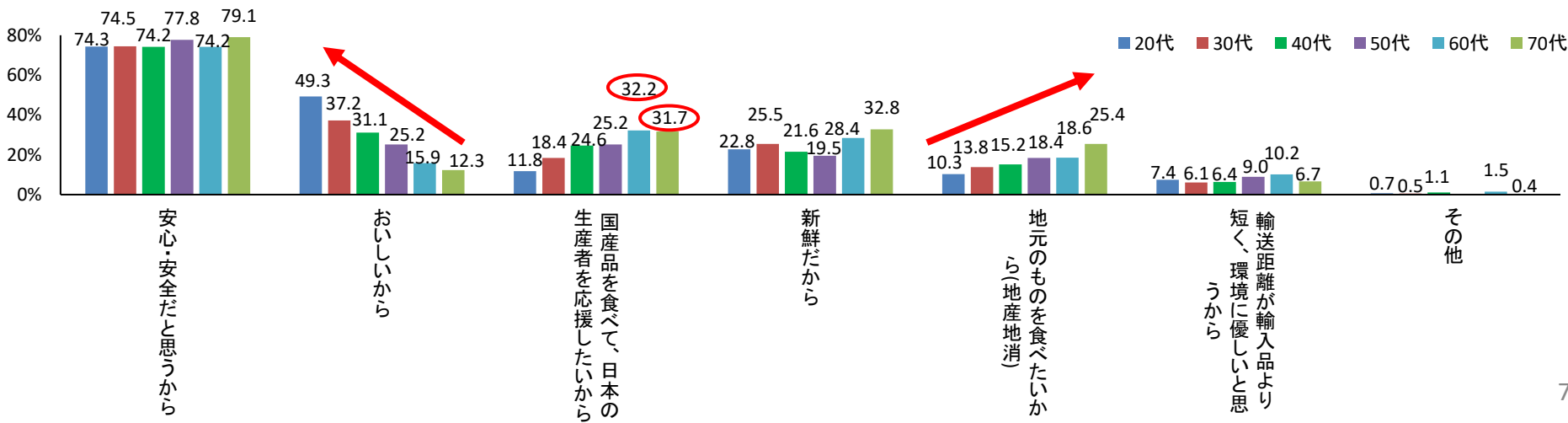


II. 国産品かどうかを気にかけるか(食料品購入時/理由)

- ・食料品を購入するときに国産品かどうかを「気にかける」と回答した方に、その理由について聞いたところ、「安心・安全だと思うから」(75.9%)が最も高く、次いで「おいしいから」(26.1%)、「国産品を食べて、日本の生産者を応援したいから」(25.4%)、「新鮮だから」(25.3%)の順となった。
- ・年代別では、「国産品を食べて、日本の生産者を応援したいから」は60～70代で3割を上回った。
- ・「おいしいから」は年代が低くなるほど高い傾向となり、「地元のものを食べたいから(地産地消)」は年代が高くなるほど高い傾向となった。



【年代別】



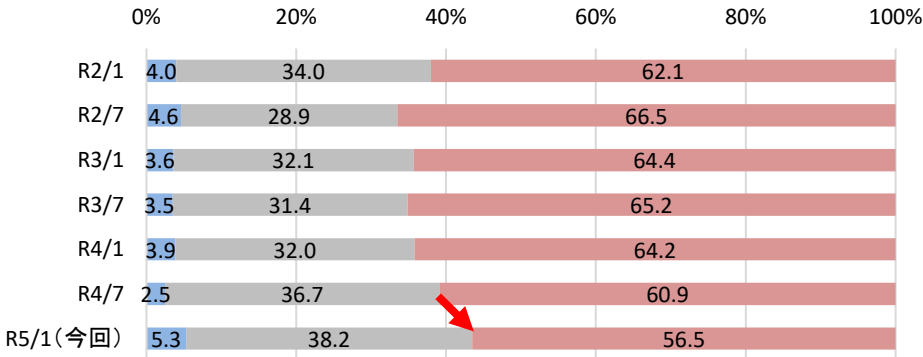
Ⅱ. 国産品かどうかを気にかけるか(国産・輸入食品に対するイメージ)

- ・国産食品に対するイメージについて、価格が「高い」の割合(56.5%、前回比▲4.4ポイント)は低下、「安全である」の割合(65.2%、前回比+4.2ポイント)は上昇した。
- ・輸入食品に対するイメージについて、価格が「安い」の割合(45.1%、前回比▲1.6ポイント)は前回調査に引き続き5割を下回った。一方、「高い」の割合(5.3%、前回比+1.8ポイント)が上昇した。

〈価格面〉

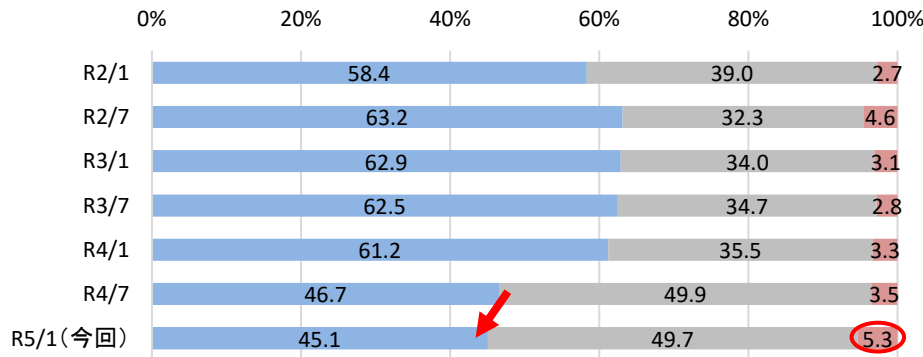
(国産食品)

■ 安い ■ どちらともいえない ■ 高い



(輸入食品)

■ 安い ■ どちらともいえない ■ 高い

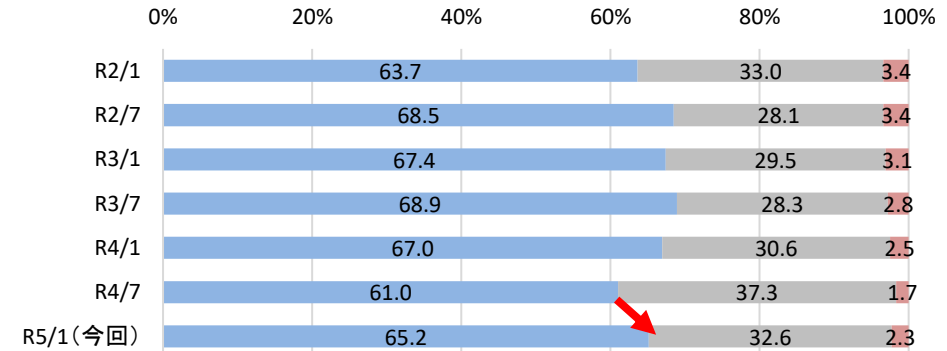


〈安全面〉

(各項目単一回答)

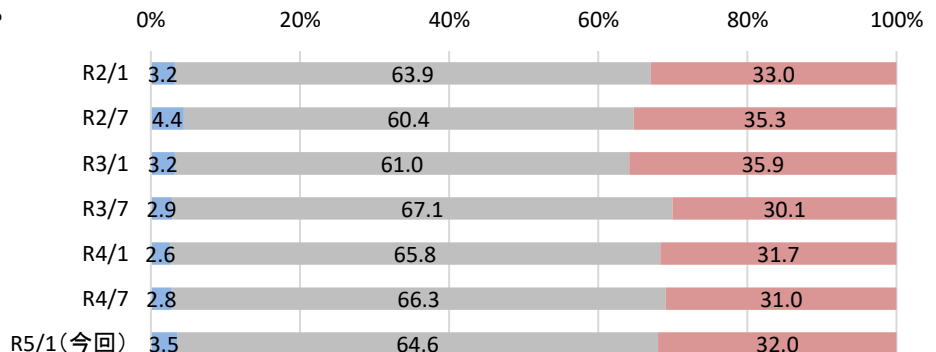
(国産食品)

■ 安全である ■ どちらともいえない ■ 安全面に問題がある



(輸入食品)

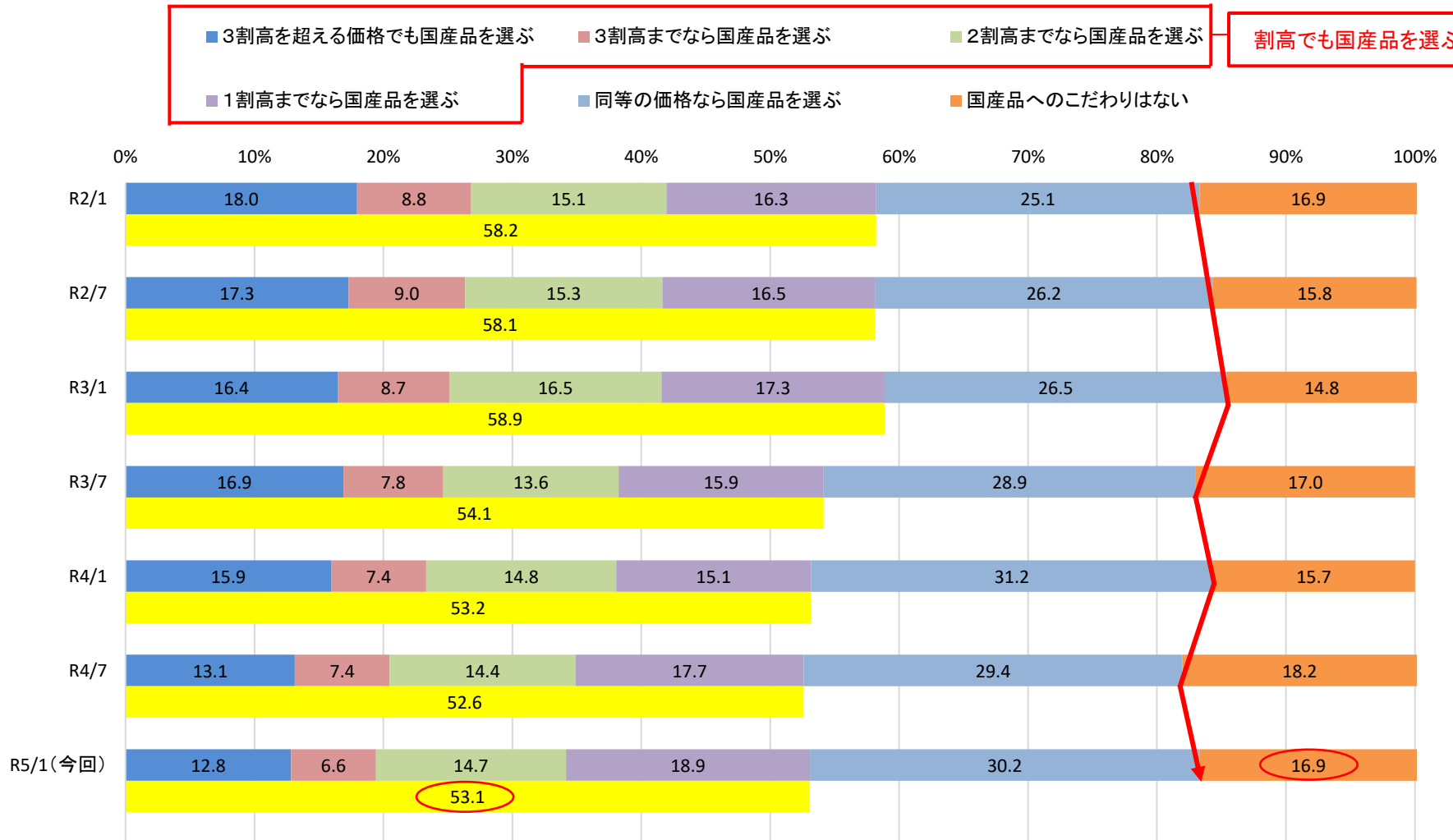
■ 安全である ■ どちらともいえない ■ 安全面に問題がある



Ⅲ. 国産食品の輸入食品に対する価格許容度

- ・“割高でも国産品を選ぶ”とする割合(53.1%、前回比+0.5ポイント)は横ばいに推移した。
- ・「国産品へのこだわりはない」(16.9%、前回比▲1.3ポイント)は低下した。

(単一回答)

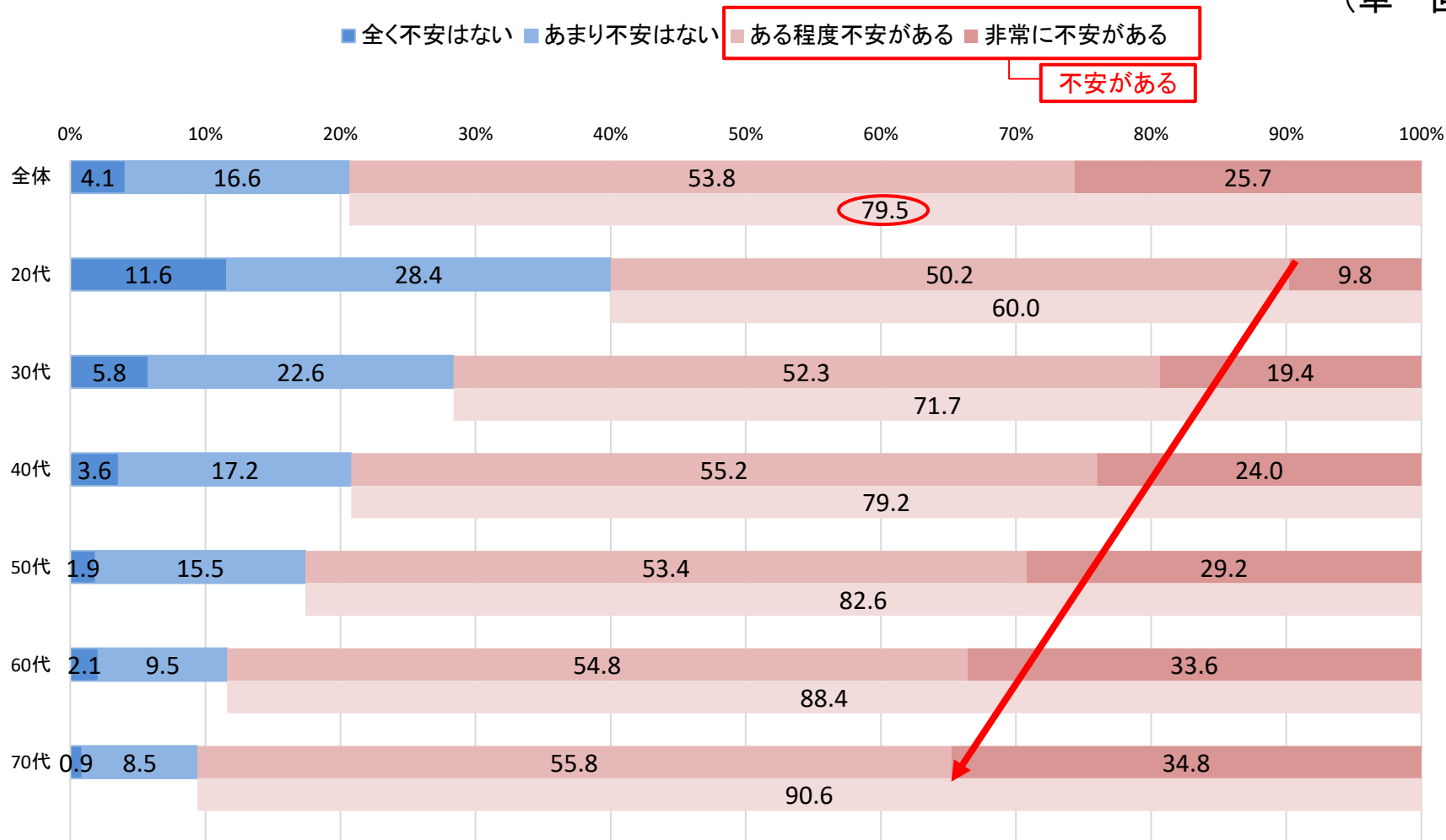


IV. 日本の将来の食料輸入についての考え

IV-1. 日本の将来の食料輸入についてどのように考えているか

- ・日本の将来の食料輸入について、「ある程度不安がある」(53.8%)、「非常に不安がある」(25.7%)を合わせた“不安がある”とする回答は79.5%となった。
- ・年代別では、「非常に不安がある」は年代が高くなるほど割合が高い傾向となった。

(単一回答)



IV-2. 日本の将来の食料輸入について不安があると考える理由

- ・日本の将来の食料輸入について”不安がある”と回答した方に、その理由について聞いたところ、「国際情勢の変化により、食料や生産資材の輸入が大きく減ったり、止まったりする可能性がある」(61.8%)が最も高くなった。

(単一回答/「非常に不安がある」「ある程度不安がある」と回答した方)

